

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称:	ウッドカラーエポキシパテ (全色共通) UR 版_20260512
供給者の会社名:	株式会社キャンディルデザイン
住所:	神奈川県川崎市宮前区有馬 8 丁目 3-11
電話番号:	044-863-9112
推奨用途:	エポキシ樹脂 2 液システム
使用上の制限:	推奨用途以外の使用は専門家の判断を仰ぐこと

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

#### 健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	区分 2
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3

#### 環境に対する有害性

水生環境有害性短期 (急性)	区分 2
水生環境有害性長期 (慢性)	区分 2

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない (分類対象外)、分類できないのいずれかに該当する。

### GHS ラベル要素

#### 絵表示



#### 注意喚起語

警告

#### 危険有害性情報

H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319	強い眼刺激
H341	遺伝性疾患のおそれの疑い

H401 水生生物に毒性  
H411 長期継続的影響により水生生物に毒性

### 注意書き

安全対策 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
(P202)  
粉じん/煙の吸入を避けること。(P261)  
取扱後は...をよく洗うこと。(P264)  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)  
環境への放出を避けること。(P273)  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/...を着用すること。  
(P280)

応急措置 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。(P302 + P352)  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305 + P351 + P338)  
ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P308 + P313)  
特別な処置が必要である(毒劇法にて解毒剤をラベルに記載することが決まっている場合。このラベルの解毒剤を見よ)。(P321)  
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P332 + P313)  
皮膚刺激または発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P333 + P313)  
眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P337 + P313)  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362 + P364)  
漏出物を回収すること。(P391)

保管 施錠して保管すること。(P405)

廃棄 内容物/容器を廃棄物処理法及び地方自治体の条例に従って廃棄すること。(P501)

### 3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名または一般名

化学名または一般名	濃度または濃度範囲	(化審法)	(安衛法)	CAS RN®
滑石	45 ≤ ~ ≤ 70%			14807-96-6
ポリ [2-(クロロメチル) オキシラン-4, 4'-ジイル] ジフェノール	30 ≤ ~ ≤ 60%	7-1279、7-1283	既存	25068-38-6
希釈剤	3 ≤ ~ ≤ 7%			
非公開	1 ≤ ~ ≤ 5%			
非公開	0.5 ≤ ~ ≤ 1.5%			

希釈剤	0.1 ≤ ~ ≤ 1%			
-----	--------------	--	--	--

#### 4. 応急措置

吸入した場合：	新鮮な空気の場所へ移動させ、保温し安静にすること 呼吸が不規則または停止している場合は、人工呼吸を行うこと 意識がない場合は、回復体位をとらせ、直ちに医師の診察を受けること 口から何も与えないこと
皮膚に付着した場合：	汚染された衣服を脱がせること 石鹸と水で皮膚を十分に洗浄するか、適切な皮膚洗浄剤を使用すること
眼に入った場合：	まぶたを開いたまま、清潔な水で少なくとも15分間に洗い流し、医師の診察を受けること
飲み込んだ場合：	飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること 安静にすること 嘔吐を誘発させないこと
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状：	特定の症状データはない 生殖または遺伝的障害の危険性がある 症状に応じた処置を行うこと 重篤な眼刺激を引き起こす アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性がある 皮膚刺激を引き起こす
医師に対する特別な注意事項：	少しでも疑いがある場合、または症状が続く場合は、医師の診察を受けること 意識のない人に口から何も与えないこと

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤：	推奨消火剤：耐アルコール性泡、CO <sub>2</sub> 、粉末、噴霧水
使ってはならない消火剤：	使用禁止：強水流
特有の危険有害性：	有害分解生成物：不完全燃焼による一酸化炭素、二酸化炭素、アルデヒド類、および各種化合物 粉じん、煙霧、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと
特有の消火方法：	高温時には蒸気が密閉容器内に圧力を生じさせる可能性がある 火災にさらされた容器を冷却するために水を使用すること 禁煙 電気的接地は推奨しない
消火を行う者の特別な保護具及び予防措置：	すべての火災と同様に、全面マスク付きの陽圧式自給式呼吸器（SCBA）および保護服を着用すること 呼吸用保護具を装着していない者はその区域から退避する

こと  
火災直後の後片付け時には **SCBA** を着用すること  
煙または有毒ガスが発生する場合は、自給式呼吸器装置および完全防護服が必要である

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置：  
適切な個人用保護具を着用すること（セクション 8 参照）  
適切な個人衛生習慣を実践すること  
飲食、喫煙またはトイレ使用前に手を洗うこと  
汚染された衣類は速やかに脱ぎ、再使用前に十分洗浄すること

環境に対する注意事項：  
流出物が下水や排水に流入しないようにすること

封じ込め及び浄化の方法及び機材：  
エリアを換気し、蒸気を吸入しないようにすること  
セクション 8 に記載の個人用保護措置を講じること  
砂、土、バーミキュライト等の不燃性材料で流出物を封じ込め、吸収すること  
密閉容器に入れて建物の外に置き、廃棄物規制に従って廃棄すること

二次災害の防止策：  
データなし

## 7. 取扱い及び保管上の注意：

取扱い：  
技術的対策：  
データなし

安全取扱注意事項：  
損傷や流出を防ぐため、容器を丁寧に取り扱うこと  
詳細はセクション 2 を参照すること - [予防]

接触回避：  
データなし

衛生対策：  
データなし

保管：  
安全な保管条件：  
室温で保管および使用すること  
二液型パステティックの一液である  
混触危険物質：強酸、強塩基  
アミンおよびメルカプタンは危険な重合反応を引き起こす可能性がある  
詳細はセクション 2 を参照すること - [保管]

安全な容器包装材料：  
データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

化学名または一般名	管理濃度	許容濃度（産衛学会）	許容濃度（ACGIH）
ケイ酸マグネシウムタルク (CAS: 14807-96-6)	設定なし	設定なし	アスベスト繊維含有 TWA: 0.1 f/cc (K) A1、アスベス

			ト繊維非含有 TWA: 2 mg/m3(E) (吸入性)
ビスフェノール A ジグリシジルエーテル (CAS: 25068-38-6)	設定なし	設定なし	設定値なし
希釈剤 (CAS: 非公開)	設定なし	設定なし	設定値なし
非公開 (CAS: 非公開)	設定なし	設定なし	10 mg/m3 (不快粉じんとして)、5 mg/m3 (吸入性粉じん)
非公開 (CAS: 非公開)	設定なし	設定なし	設定値なし

設備対策： 適切な換気を確保すること  
合理的に実施可能な範囲で、局所排気換気装置および全体換気装置の使用により達成すること  
これらの措置が粒子状物質および蒸気の濃度を職業曝露限界(OEL)以下に維持するために不十分な場合は、適切な呼吸用保護具を着用すること

保護具：

本製品は不浸透性保護具着用が義務付けられている

呼吸用保護具： 作業者が曝露限界を超える濃度に曝露される場合は、適切な認定済み呼吸用保護具を使用すること

手の保護具： 保護手袋の着用を推奨する

眼、顔面の保護具： 保護用安全メガネの着用を推奨する

皮膚及び身体の保護具： 皮膚への接触を避けること

特別な注意事項： 適切な個人衛生習慣を实践すること  
飲食、喫煙またはトイレ使用前に手を洗うこと  
汚染した衣類はただちに脱ぎ、再使用前に十分に洗濯すること

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態： 固体  
形状： データなし  
色： 松色  
臭い： 特徴的な臭い  
融点/凝固点： データなし  
沸点又は初留点及び沸点範囲： データなし  
可燃性： データなし  
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界： データなし

引火点:	試験方法: (開放式/密閉式カップ)
自然発火点:	データなし
分解温度:	データなし
pH:	データなし
動粘性率:	Putty mm <sup>2</sup> /s,40°C
溶解性:	データなし
n-オクタノール/水分配 係数 (対数値):	データなし
蒸気圧:	データなし
密度及び/または相対密 度:	データなし
相対ガス密度:	データなし
粒子特性:	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性:	製品を指示通りに取り扱わない場合、危険な重合が起こる可能性がある
化学的安定性:	本製品は室温で反応するために別の製品を必要とする 安全のため、使用方法に従って製品を混合して使用すること 不適切な取り扱いにより、過度の熱や煙が発生する可能性がある 機械的衝撃に対して感受性はない
危険有害反応可能性:	データなし
避けるべき条件:	高温及び禁忌物質との接触を避けること
混触危険物質:	強酸、強塩基 アミン類及びメルカプタン類は危険な重合を引き起こす可能性がある
危険有害な分解生成物:	一酸化炭素、二酸化炭素、アルデヒド類、及び不完全燃焼による各種化合物

## 11. 有害性情報

急性毒性 (経口):	データなし エポキシ成分の特性と同様の製剤に関する毒性データを考慮すると、この製剤は刺激性を持ち、皮膚および呼吸器感受性を有する可能性がある。低分子量エポキシ成分は眼、粘膜および皮膚に対して刺激性がある。繰り返し皮膚に接触すると刺激および感作を引き起こす可能性があり、他のエポキシとの交差感作を起こす可能性もある。製剤との皮膚接触およびスプレーミストや蒸気への曝露は避けること。注意：急性毒性物質について経路別 LD50 データが入手できない場合、製品の ATE (急性毒性推定値) の計算には換算された急性毒性推定値が使用された。  ケイ酸マグネシウムタルク: -LD50、ラット > 5,000.00 mg/kg
------------	--

ビスフェノール A のジグリシジルエーテル :  
-LD50、ラット > 5,000.00 mg/kg

希釈剤 :  
-LD50 データなし

非公開 :  
-LD50 データなし

非公開 :  
-LD50 データなし

希釈剤 :  
-LD50、ウサギ > 5,000.00 mg/kg

急性毒性（経皮）：

データなし

エポキシ成分の特性と同様の製剤に関する毒性データを考慮すると、この製剤は刺激性を持ち、皮膚および呼吸器感受性を有する可能性がある。低分子量エポキシ成分は眼、粘膜および皮膚に対して刺激性がある。繰り返し皮膚に接触すると刺激および感作を引き起こす可能性があり、他のエポキシとの交差感作を起こす可能性もある。製剤との皮膚接触およびスプレーミストや蒸気への曝露は避けること。注意：急性毒性物質について経路別 LD50 データが入手できない場合、製品の ATE（急性毒性推定値）の計算には換算された急性毒性推定値が使用された。

ケイ酸マグネシウムタルク :  
-LD50 データなし

ビスフェノール A のジグリシジルエーテル :  
-LD50、ウサギ 20,000.00 mg/kg

希釈剤 :  
-LD50 データなし

非公開 :  
-LD50 データなし

非公開 :  
-LD50 データなし

希釈剤 :  
-LD50、ウサギ 2,201.00 mg/kg

急性毒性（吸入：気体）：

データなし

エポキシ成分の特性と同様の製剤に関する毒性データを考慮すると、この製剤は刺激性を持ち、皮膚および呼吸器感受性を有する可能性がある。低分子量エポキシ成分は眼、粘膜および皮膚に対して刺激性がある。繰り返し皮膚に接触すると刺激および感作を引き起こす可能性があり、他のエポキシとの交差感作を起こす可能性もある。製剤との皮膚接触およびスプレーミストや蒸気への曝露は避けること。注意：急性毒性物質について経路別 LD50 データが入手できない場合、製品の ATE（急性毒性推定値）の計算には換算された急性毒性推定値が使用された。

ケイ酸マグネシウムタルク :  
-LC50 データなし

ビスフェノール A のジグリシジルエーテル :  
-LC50 データなし

希釈剤：  
-LC50 データなし

非公開：  
-LC50 データなし

非公開：  
-LC50 データなし

希釈剤：  
-LC50 データなし

急性毒性（吸入：蒸気）：

データなし

エポキシ成分の特性と同様の製剤に関する毒性データを考慮すると、この製剤は刺激性を持ち、皮膚および呼吸器感受性を有する可能性がある。低分子量エポキシ成分は眼、粘膜および皮膚に対して刺激性がある。繰り返し皮膚に接触すると刺激および感作を引き起こす可能性があり、他のエポキシとの交差感作を起こす可能性もある。製剤との皮膚接触およびスプレーミストや蒸気への曝露は避けること。注意：急性毒性物質について経路別 LD50 データが入手できない場合、製品の ATE（急性毒性推定値）の計算には換算された急性毒性推定値が使用された。

ケイ酸マグネシウムタルク：  
-LC50 データなし (4hr)

ビスフェノール A のジグリシジルエーテル：  
-LC50 データなし (4hr)

希釈剤：  
-LC50 データなし (4hr)

非公開：  
-LC50 データなし (4hr)

非公開：  
-LC50 データなし (4hr)

希釈剤：  
-LC50 データなし (4hr)

急性毒性（吸入：粉じん・ミスト）：

データなし

エポキシ成分の特性と同様の製剤に関する毒性データを考慮すると、この製剤は刺激性を持ち、皮膚および呼吸器感受性を有する可能性がある。低分子量エポキシ成分は眼、粘膜および皮膚に対して刺激性がある。繰り返し皮膚に接触すると刺激および感作を引き起こす可能性があり、他のエポキシとの交差感作を起こす可能性もある。製剤との皮膚接触およびスプレーミストや蒸気への曝露は避けること。注意：急性毒性物質について経路別 LD50 データが入手できない場合、製品の ATE（急性毒性推定値）の計算には換算された急性毒性推定値が使用された。

ケイ酸マグネシウムタルク：  
-LC50 データなし (4hr)

ビスフェノール A のジグリシジルエーテル：  
-LC50 データなし (4hr)

希釈剤：  
-LC50 データなし (4hr)

非公開:	-LC50 データなし (4hr)
非公開:	-LC50 データなし (4hr)
希釈剤:	-LC50 データなし (4hr)
皮膚腐食性・刺激性:	区分 2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:	区分 2
呼吸器感作性:	分類できない 呼吸器感作性: 分類対象外 (---)
皮膚感作性:	区分 1 アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性がある (皮膚感作性 区分 1)
生殖細胞変異原性:	区分 2 【変異原性】 遺伝的欠陥を引き起こすおそれがある (生殖細胞変異原性 区分 2) 【生殖細胞変異原性】 遺伝的欠陥を引き起こすおそれがある (生殖細胞変異原性 区分 2)
発がん性:	区分に該当しない 発がん性: 分類対象外 (---)
ケイ酸マグネシウムタルク:	-IARC: グループ 1: なし; グループ 2a: なし; グループ 2b: なし; グループ 3: あり -NTP: 既知: なし; 疑い: なし -OSHA: 規制発がん物質: なし -備考: ACGIH: A4
ビスフェノール A のジグリシジルエーテル:	-IARC: グループ 1: なし; グループ 2a: なし; グループ 2b: なし; グループ 3: なし -NTP: 既知: なし; 疑い: なし -OSHA: 規制発がん物質: なし -備考: ACGIH: 確立した限界値なし
希釈剤:	-IARC: グループ 1: なし; グループ 2a: なし; グループ 2b: なし; グループ 3: なし -NTP: 既知: なし; 疑い: なし -OSHA: 規制発がん物質: なし -備考: ACGIH: 確立した限界値なし
希釈剤:	-IARC: グループ 1: なし; グループ 2a: なし; グループ 2b: なし; グループ 3: なし -NTP: 既知: なし; 疑い: なし -OSHA: 規制発がん物質: なし -備考: ACGIH: 確立した限界値なし
独自成分:	-IARC: グループ 1: なし; グループ 2a: なし; グループ 2b:

なし; グループ 3: なし  
-NTP: 既知: なし; 疑い: なし  
-OSHA: 規制発がん物質: なし  
-備考: ACGIH: 確立した限界値なし

独自成分:  
-IARC: グループ 1: なし; グループ 2a: なし; グループ 2b: なし; グループ 3: なし  
-NTP: 既知: なし; 疑い: なし  
-OSHA: 規制発がん物質: なし  
-備考: ACGIH: 確立した限界値なし

生殖毒性: 分類できない  
【生殖毒性】  
生殖毒性: 分類対象外 (---)

【催奇形性】

-

生殖毒性・授乳影響: 分類できない  
特定標的臓器毒性 (単回ばく露): 区分 3  
特定標的臓器毒性 (単回暴露): 区分--- (分類対象外) および区分 3 (分類対象外)

製品:  
-区分: 3、分類対象外、特定標的臓器毒性 (単回暴露) 区分 3

【潜在的な急性健康影響】

結論/要約: 特定の症状データなし。生殖または遺伝的欠陥の危険性あり。対症療法で処置すること。

眼への接触:  
- 影響の概要: 重篤な眼刺激を引き起こす。  
- 予想される症状: 特定の症状データなし。

皮膚への接触:  
- 影響の概要: アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性がある。皮膚刺激を引き起こす。  
- 予想される症状: 特定の症状データなし。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露): 分類できない  
特定標的臓器毒性 (反復暴露): 分類対象外 (---)

誤えん有害性: 分類できない  
誤えん有害性: 分類対象外 (---)

その他:

【暴露経路の可能性】

侵入経路: 特定されていない。製剤との皮膚接触およびスプレーミストや蒸気への曝露は避けること。

【遅発性・即時性・慢性影響】

結論/要約:  
急性および遅発性の症状と影響: 特定の症状データなし。  
慢性:  
遺伝的欠陥を引き起こすおそれがある。生殖または遺伝的欠陥の危険性あり。

【その他の情報】

分類表の概要: 急性毒性 (経口) --- 分類対象外; 急性毒性 (経皮) --- 分類対象外; 急性毒性 (吸入) --- 分類対象外; 皮膚腐食

性・刺激性 区分2 - 皮膚刺激を引き起こす; 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2 - 重篤な眼刺激を引き起こす; 呼吸器感受性 --- 分類対象外; 皮膚感受性 区分1 - アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性がある; 生殖細胞変異原性 区分2 - 遺伝的欠陥を引き起こすおそれがある; 発がん性 --- 分類対象外; 生殖毒性 --- 分類対象外; 特定標的臓器毒性 (単回暴露) --- 分類対象外; 特定標的臓器毒性 (単回暴露) 区分3 - 分類対象外; 特定標的臓器毒性 (反復暴露) --- 分類対象外; 誤えん有害性 --- 分類対象外

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性短期  
(急性) :

区分2

水生生物に毒性がある。

ケイ酸マグネシウムタルク :

-LC50、110,000.00 mg/L、魚類、96 時間

-EC50、36,812.36 mg/L、ミジンコ類、48 時間

-ErC50、7,202.70 mg/L、緑藻類

ビスフェノール A のジグリシジルエーテル :

-LC50、3.10 mg/L、Pimephales promelas、96 時間

-EC50、1.40 mg/L、Daphnia magna、48 時間

独自成分 :

-LC50、> 1,000 mg/L、Danio rerio、96 時間

希釈剤 :

-LC50、6.50 mg/L、Danio rerio、96 時間

-EC50、16.00 mg/L、Daphnia magna、48 時間

-ErC50、5.10 mg/L、Pseudokirchnerella subcapitata

水生環境有害性長期  
(慢性) :

区分2

長期継続的影響により水生生物に毒性がある。

生態毒性 :

希釈剤 :

-LC50、データなし、データなし

独自成分 :

-データなし、データなし

残留性・分解性 :

混合物自体に関するデータはない

生体蓄積性 :

土壌中の移動性 :

オゾン層への有害性 :

データなし

その他 :

PBT/vPvB ステータス :

本製品には PBT/vPvB 物質は含まれていない

その他の悪影響 :

情報なし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 :

本物質を廃棄する際は、連邦、州および地方のすべての規制を遵守すること

汚染容器及び包装 : データなし

## 14. 輸送上の注意

国際規制 :

国連番号 : 規制対象外  
品名 : 規制対象外  
クラス : 該当なし  
容器等級 : 該当なし  
副次的危険性 : 該当なし  
海上規制情報 : **IMDG:** 該当なし  
サブクラス: 該当なし  
海洋汚染物質 : あり (ビスフェノール A のジグリシジルエーテル)  
航空規制情報 : 航空クラス: 該当なし  
サブクラス: 該当なし

国内規制 :

陸上規制情報 : **TG 危険有害性クラス:** 該当なし  
サブクラス: 該当なし  
海上規制情報 : 規制対象外  
航空規制情報 : 規制対象外

特別の安全対策 : データなし

## 15. 適用法令

化学物質排出把握管理  
促進法(PRTR法) :

非該当

労働安全衛生法 :

名称等を表示すべき危険物及び有害物  
・ 4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと 1-クロロ  
-2, 3-エポキシプロパンの重縮合物 (液状のものに限  
る。) 規則別表第 2 の 169 令和 7 年 4 月 1 日施行

名称等を通知すべき危険物及び有害物  
・ 4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと 1-クロロ  
-2, 3-エポキシプロパンの重縮合物 (液状のものに限  
る。) 規則別表第 2 の 169 令和 7 年 4 月 1 日施行

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保  
護具等の使用義務物質・皮膚刺激性有害物質

・ 4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと 1-クロロ  
-2, 3-エポキシプロパンの重縮合物 (液状のものに限  
る。) 令和 6 年 4 月 1 日

作業環境評価基準で定める管理濃度

・ 土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じん

強い変異原性が認められた化学物質

・ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体

毒物及び劇物取締法： 非該当

化審法： 優先評価化学物質  
・ 4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパンの重縮合物（別名ビスフェノールA型エポキシ樹脂）（液状のものに限る。）

海洋汚染防止法 有害液体物質 X類：ポリ[2-(クロロメチル)オキシラン-alt-4,4'-(プロパン-2,2-ジイル)ジフェノール]

## 16. その他の情報

参考文献： データなし

その他： 改訂日: 05/28/2024  
本 SDS に含まれる情報および推奨事項は、正確であると  
考えられるデータに基づいている  
ただし、本 SDS に含まれる情報に関して、明示または黙  
示を問わず、いかなる種類の保証も行わない  
当社製品への曝露により生じる有害な影響について、当社  
は一切の責任を負わず、すべての賠償責任を否認する  
本製品の顧客/ユーザーは、適用されるすべての健康およ  
び安全に関する法律、規制、および命令を遵守すること  
H315 皮膚刺激を引き起こす  
H317 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれがある  
H319 強い眼刺激を引き起こす  
H320 眼刺激を引き起こす  
H335 呼吸器への刺激を引き起こすおそれがある  
H341 遺伝性疾患を引き起こすおそれがあると疑われる  
H401 水生生物に毒性がある  
H411 長期的な影響により水生生物に毒性がある  
免責事項：本 SDS に記載された情報は、本製品を取り扱  
いまたは使用する方々への指針として提供されるものであ  
る  
いかなる材料を取り扱う場合においても、安全な作業手順  
を採用すること  
本製品の使用中に採用される安全手順の妥当性について  
は、エンドユーザーが判断することが重要である